

社会科 6年生 単元名『当事者としての政治を目指して』授業実践・授業研修	
日時	7月5日(金)2・3校時
授業者	松林 泰弘
本時のねらい	①市議会議員の方との出会いを通して政治に対する自身のイメージの変化や深まりを自覚することができる。 ②自分自身や自分を取り巻く身近な人々の日常生活の困り感に対する政策を提案し、意見交流を図ることを通して、政策を立案する難しさや必要な視点を獲得することができる。
単元・題材計画	第1次 自分自身や自分を取り巻く身近な人々の日常生活の困り感から、政策を立案しよう。……………4時間 第2次 市議会議員の方との意見交流会をしよう。 (自分の考えた政策の発表・意見交流)……………2時間(本時) 第3次 政策を立案する時のポイントをまとめよう。……………2時間
授業の実際 (本時の流れ)	本時では、市議会議員の方との対話会を行った。広島県の4市(安芸高田市・庄原市・竹原市・府中市)の市議会議員4名を招聘した。まずは、市議会議員の方と子供達との距離を縮めるため、議員の方の政治に対するそれぞれの思いを10分ずつ話していただいた。その後、8人ずつのグループに分かれ対話会を行った。子供達の考えた政策を議員の方に提案し、その後、コメントをいただき、政策の改善に活用した。受容と共感を促す手立てとして、議員の方との交流の場面で子供達との物理的・精神的な距離を縮めるため、議員の方を複数名招聘し、小グループでの政策提案、意見交流を行うことができたようにした。
事後協議の概要	本物から学ぶことがたくさんあり、子供達の学ぶ意欲も高い時間となった。また、子供達から様々な政策が提案され、それを市議会議員の方にコメントをいただいたことが子供達のさらなる政治への関心を生み出すものとなっていた。

※写真を数枚(授業の様子が分かるもの・協議の様子等)

